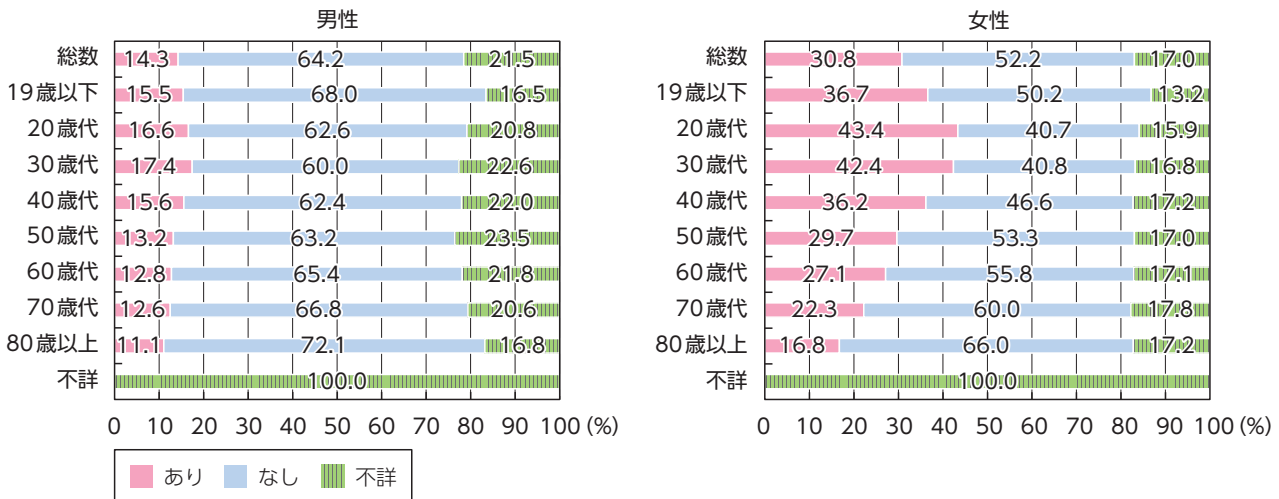


8 自殺未遂の状況

令和2年における自殺者の自殺未遂歴の有無について、自殺統計によれば（第1-32図）、全ての年齢階級で、自殺未遂歴が「あり」の者の割合は、女性が高くなっている。女性の20

歳代及び30歳代では、自殺未遂歴「あり」が40%以上となっている。また、男女別にみると、自殺未遂歴が「あり」の者の割合について男性では30歳代、女性では20歳代が最も高い。

第1-32図 令和2年における自殺未遂歴の有無別自殺者数の割合

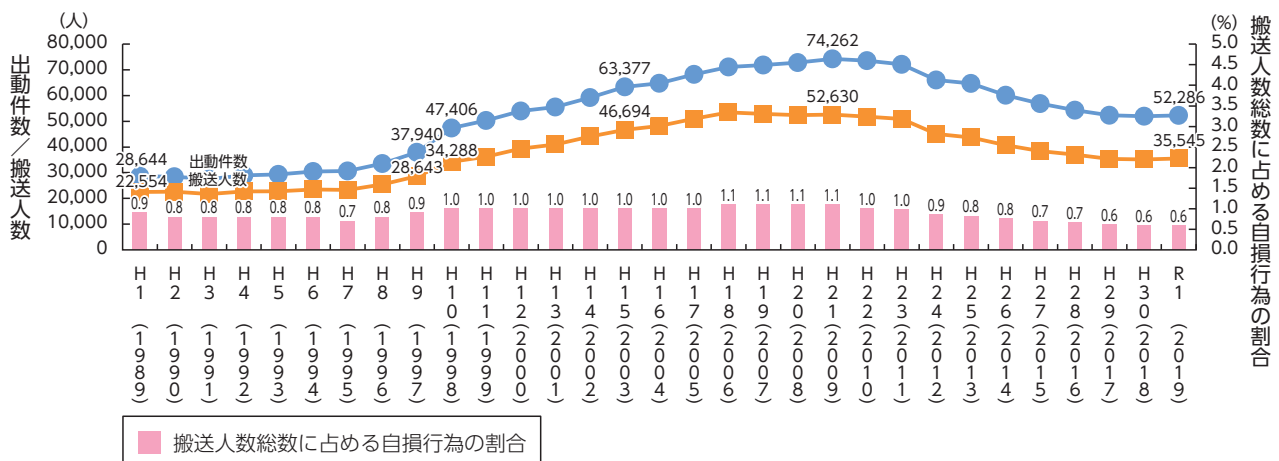


資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

次に、消防庁の救急・救助の現況によれば（第1-33図）、自損行為による救急自動車の出動件数及び搬送人員は共に増加傾向にあったが、平成21年をピークに30年まで減少していた。令和元年における自損行為の状況については、救急自動車の出動件数は5万2,286件

であり、前年に比べ292件（0.6%）増加した。搬送人員は3万5,545人であり、前年に比べ389人（1.1%）増加している。また、搬送人員総数に占める自損行為の搬送人員の比率は、近年減少傾向にあり、令和元年は0.6%となっている。

第1-33図 自損行為による救急自動車の出動件数及び搬送人員の推移



資料：消防庁「救急・救助の現況」より厚生労働省自殺対策推進室作成